

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	御嵩町立上之郷小学校		
実 施 期 間	平成25年10月27日(日)～平成25年11月22日(金)		
実 施 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自主防災会との合同防災訓練 ・全学級の防災教育に関わる授業公開と2年間の実践発表 		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	30人	計 80人
	地域関係者	50人	
実 施 状 況	<p>●10月27日(日) 近隣自主防災会との合同防災訓練 授業日でないとき(夜間、休日)に大きな災害が起きると、職員も学校に来られなくなります。その状況で、学校が避難所になると(すなわち80%の確率で)避難所開設は地域の方々の手に委ねられます。 そこで、平、美佐野、宿の自治会の方々と児童で、合同防災訓練を行いました。小グループに分かれ、前述した3つの自治会にある防火設備を探すオリエンテーリングを行い、自助共助の学習を深めました。 また、御嵩町の計らいで防災ヘリも来てもらえました。目の前で繰り上げられる空中での救助救出活動は圧巻でした。去っていくヘリコプターから手を振る隊員の方々に、子どもたちも精一杯の思いを込めて手を振っていました。公助とは何かを学ぶ機会となりました。</p> <p>●11月22日(金) 上之郷小学校区拡大交流会 昨年度から取り組んできた防災教育のすべてを発表しました。3時間目から全学級を順次公開し、最後は全体会において、今までの実践を報告しました。 御嵩町の小中学校全教員100名ほどと町内外からの参観者70名ほど、合計170名ほどの来校がありました。20名ほどの保護者の授業参観もありました。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>●11月22日(金) 上之郷小学校区拡大交流会</p> <p><参観した教職員の感想> 校庭も含め学校に入った途端、物事がきちんとすっきり整頓されて緊張感が漂っていました。掲示物が華美になりすぎず適切な量で、トイレや保健室なども本当によく整頓清掃されておりました。各教室も落下物対策なども見事で、見習わなければと思いました。 一人一人の子どもたちに授業に向かう目があり、一人残らず優等生にみえました。1年生も「テレビが落ちてくる。」ことに目を付け、課題に対して真剣に考えている姿がみえました。6学級ともに学校全体として「聞く姿勢・話す姿勢」の統一した指導姿勢が感じられました。見事ですね。授業の質が高く、教科・領域の特性をよく把握して、単元や単位時間でのねらいが明確になっており、無理して”防災教育”を入れることなく自然な形で組み込まれていたの、「なるほど」と納得しました。</p> <p><参観した地区住民の感想> <input type="checkbox"/>学ぼうとする姿勢に感動しました。日頃の積み重ねの確かな証明だと思います。多様な考え、根拠にもとづく考え方に力を感じました。仲間の考えにかかわっていける姿も素晴らしいですね。 <input type="checkbox"/>豊かな自然の中で素朴に伸び伸びとくまなく学習する子どもたちの姿に感銘を受けました。「2年生授業」課題を明確に把握して的確に避難経路を考え、調べ、答えを導き出す2年生の姿に実践の積み上げと定着を見ることができました。子どもたちの発言内容や動きの中に防災への意識の高さ、着眼点の的確さを感じ取りました。</p>		